

矢板で働こうよ！

保護者のための矢板市就活セミナー

いて語られました。

【保護者】

二月十八日（日）文化会館小ホールで、「矢板市に多くの学生に就職してほしい」という願いのもと、「保護者のための矢板市就活セミナー」が開催されました。

今回は、市内企業代表者などが自らの経験を語り合ったシンポジウムの内容と、セミナー終了後、参加者たちに聞いた感想を紹介します。

＊シンポジウムの内容

市長「保護者のための就活ガイドブック」や「企業紹介ブック」を発行。矢板で生活し、仕事をすることの魅力伝えることで、「子や孫が帰ってくるまちづくり」の実現を目指している。

東泉商工会長 まちゼミや創業支援を行っている。小堀建設社長 人を育てる企業を目指している。

ブリジック・木村代表 翻訳や通訳、語学研修を行っている。

このほか、四人からは矢板市の魅力や起業時のサポート体制、これからの企業ビジョンなどにつ

【学生】

＊大学一年生・高校二年生の子どもを持つ四十代女性

「地元で就職し、将来的には起業したい」と、子どもから希望があったので、情報収集のために参加した。

起業にはやはりお金がかかるため、お金を貯める必要があるが、起業のためにいろいろなバックアップがあることがわかってよかった。矢板で起業できるといい。

＊大学二年生の子どもを持つ五十代女性

人事・エントリーシーの現状や対策など、就活の厳しさや環境の変化を知ることができてよかった。工場などでも女性が働く環境の整備がされていることや通訳の仕事など面白いものがあることがわかり、選択肢の幅が広がったし、子どもの就職がいろいろ考えられるようになった。

また、お楽しみ抽選では、矢板の特産品が当た

り、来てよかった。

また、お楽しみ抽選では、矢板の特産品が当た



自転車少年が起業戦士に！！

じてんしゃ屋フレイッシュ 藤田佳希さん（二十九歳）

二〇一七年一月から、「じてんしゃ屋フレイッシュ」を始め、矢板市を中心に、栃木県北地域の自転車出張修理・相談・販売を行う笑顔のステキな好青年・藤田さんにお話を伺いました。

●起業のきっかけは？

生まれも育ちも矢板で、子どものころから自転車が好きでした。大学では「サイクリング同好会」に入り、日本中を旅して、自転車での長距離走行のつらさを感じた一方で、大変でも成し遂げる達成感を味わったことで、自転車にどんなのめり込んできていました。

大学卒業後、システムエンジニアの職に就きま

た。矢板市でもしかなると、矢板市での起業も考えられるかもしれない。（T・O）

今日のような話は、就活中の身としては、選択肢が広がりとってもよかった。起業支援が手厚いの

で、視野が広がった。

今日のような話は、就活中の身としては、選択肢が広がりとってもよかった。起業支援が手厚いの



私がお伺いします♪

したが、デスクワークが性に合わず退社し、大学時代にアルバイトをしていた東京巣鴨の自転車屋さん「イレブンサイクル」に再就職しました。

若くバリバリ仕事をこなす社長の姿を見て、「自分もやってみよう」と起業を決心しました。

その後、ツーリングでけがをし、地元に戻ったことをきっかけに、矢板で起業することになりました。店名の「フレイッシュ」とはフランス語で「矢」という意味で、矢板の「矢」とかけました。

●仕事内容は？

今はスポーツ車、ママチャリ（一般車）などの修理および販売を行っています。

日本中を回り、自転車事情を学ぶできましたが、その中でも矢板の地形は坂道と平坦路が隣接し、景観もよく、自転車で走

るのによい条件がそろっています。

ママチャリは二十キログラムと重いですが、ロードバイクは約八キログラムと軽く、シニアでも



12月のYAITAカップのようす

●今後の目標は？

矢板に自転車のベース基地を作りたいです。これから自転車を始める方

すでに乗られている方が交流できる場にしていきたいです。また、市内で開催している「チャリ整

え会」や「YAITAカップ」などの共催イベントをパワーアップし、自転車の楽しさをより多くの方に伝えたいです。

自転車に対する恩返しをするためにも、皆様に

お力添えいただきたいながら頑張っていきたいと思

（M・W）